

すい さん けんきゅう きょうい く き こう ニュース レター  
水産研究・教育機構 NEWS LETTER



かわらばん

# おさかな瓦版

No. 123

2025.1



## マアナゴ



ふーちゃんのトピックス

だい かい うみ じゅう けん きゅう さく ひん  
第43回「海とさかな」自由研究・作品コンクール

すい さん けんきゅう きょうい く き こう り じ ちやうしやう さく ひん  
～水産研究・教育機構 理事長賞はこの作品!～





# マアナゴ

だい かい ゆう み ちか さかな  
 ~大回遊する身近な魚~



ぎょかく 漁獲されたマアナゴ

## マアナゴってどんな魚?

日本や韓国、中国の浅い海にすんでいる夜行性の魚で、日本では東京湾のほか、長崎県の対馬や瀬戸内海、伊勢湾や仙台湾などが有名な産地です。江戸前ずし(煮穴子)や天ぷら、かば焼き、干物などで食べられます。体の両側に白い点が並ぶため(🐟1)、東京湾では「ハカリメ」とも呼ばれ、また、



🐟1 からだ りょうがわ しろ てん なら 体の両側に白い点が並んでいる

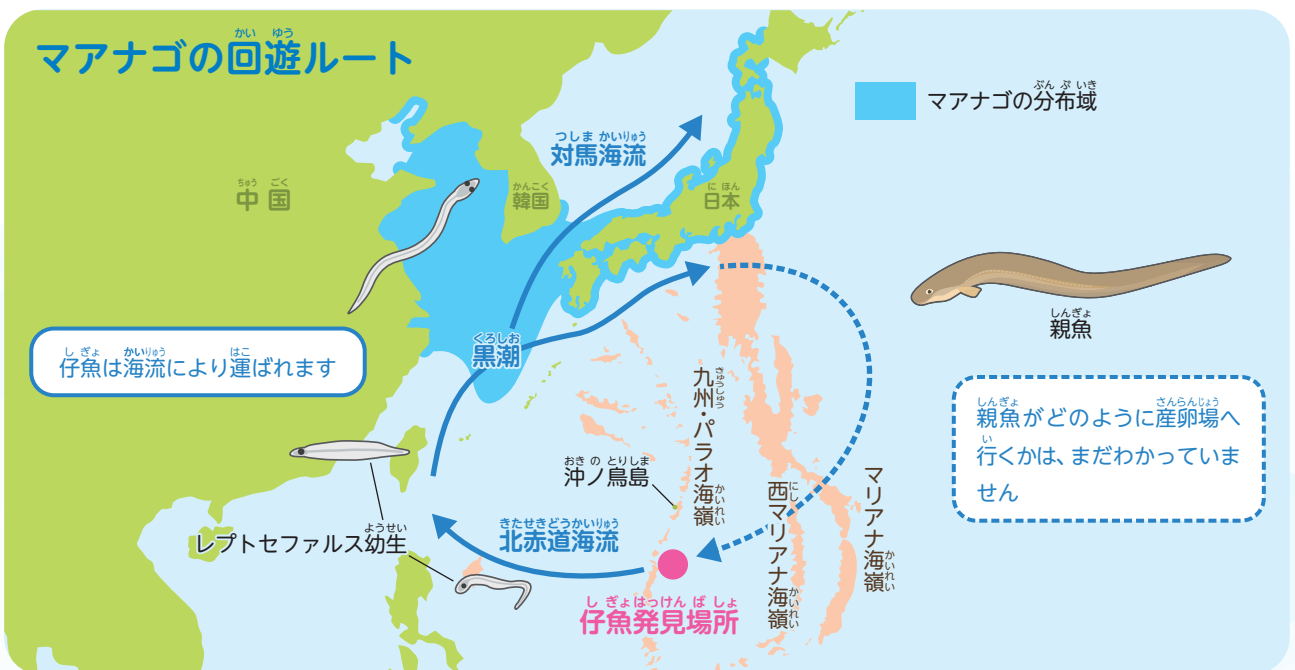
伊勢湾では「メジロ」など、それぞれの地域特有の名前で呼ばれることもあります。

## 南の海からやってくる

最近まで産卵場がわかっていませんでした。2008年の調査で、産卵場が九州・パラオ海嶺という海底の山脈に沿って、本州から2000キロ以上離れたはるか南の海(沖ノ鳥島から約380キロ南)にあることが世界で初めて発見されました(🐟2)。

生まれた赤ちゃん(仔魚)はレプトセファルス幼生と呼ばれ、親の形とは全く似ていない透明でヒラヒラした体をしています(🐞ワンポイント)。産卵場から海流に流されながら成長し、東アジア

## マアナゴの回遊ルート



しぎょ かいりゅう 仔魚は海流により運ばれます

親魚がどのように産卵場へ行くかは、まだわかっていません

🐟2 マアナゴの産卵場と分布域

まで3か月以上かけて回遊して、冬から春先に日本沿岸にやってきます(🐟3)。



🐟3 マアナゴの調査をするようす

## 身近な海から産卵場へ

日本沿岸にやってきたマアナゴは、成長して見た目が親と同じ体になり、初めは河口や岸寄りの浅い砂底で過ごします。1年で全長15~30センチ、2年で30~45センチほどになり、そのあとは60センチ以上に成長します。伊勢湾では、2~3年すると湾の外へ移動し、一度湾外に出ると、湾内には戻らず、より深い場所で過ごすと考えられています。

また、湾内にはオスもメスもいますが、湾外ではほとんどがメスなので、オスはメスよりも早く産卵場に向かう回遊を始めるのではないかと考えられています。

## 地域ごとに異なる漁獲量

日本では、かご漁、あなご筒、釣り、はえ縄、底びき網など、さまざまな方法で漁獲されます。瀬戸内海や伊勢湾では2000年くらいから漁獲量が減少し、近年では10分の1以下にまで減っています。一方で、対馬や仙台湾などでは漁獲量は比較的安定しているようです。この海域による違いは、どのくらいの仔魚が海流に乗って運ばれてきて、どの海域で岸近くまでやってこられるのかが、その時々海流の条件によって変わることが関係していると考えられています。

限られた資源であるマアナゴを大事に活用するために、小さなマアナゴをとらないような工夫や、漁をしない期間を作るなどの取り組みが各地で行われています。



文：横内 一樹

## あんじいのワンポイントアドバイス



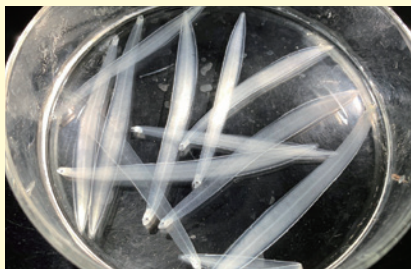
あんじい：ありとあらゆることを知っているナゾのさかな仙人です

## レプトセファルス幼生とは何か？

レプトセファルスとは、ふ化したあと、稚魚になるまでの仔魚のことで、平たくて、細長く、透明な体をしておるぞ。ラテン語で、レプトは「小さい」、セファルスは「頭」という意味じゃが、日本では「葉形仔魚」と呼ばれておる。高知県ではアナゴ類のレプトセファルス幼生は「のれそれ」と呼ばれ、珍味として食べられているのじゃ。



ふ化後3~4日と推定されたマアナゴのレプトセファルス

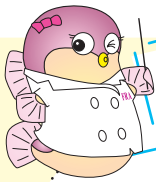


透明な柳の葉のような姿で回遊する



生で食べられることが多い海産珍味「のれそれ」





# ふーちゃんのトピックス

すてきな作品を  
たくさん  
ありがとう!



## 第43回「海とさかな」自由研究・作品コンクール

### ～水産研究・教育機構 理事長賞はこの作品!～

「海とさかな」自由研究・作品コンクールの各賞の表彰式が2024年12月14日、オンラインで行われました。研究部門では、村上柗生さん(大分県・小学5年生)の観察図「ぼくが魅了された魚! ハマフエフキ」、創作部門は田村弦輝さん(高知県・小学5年生)の絵画「海のめぐみ」がそれぞれ水産研究・教育機構 理事長賞を受賞しました。

このコンクールは、毎年小学生を対象に、「海とさかな」をテーマにした作品を募集しています。朝日新聞社・朝日学生新聞社が主催、株式会社ニッスイが協賛し、当機構などの後援で行われています。

けんきゅう ぶ もん  
研究部門

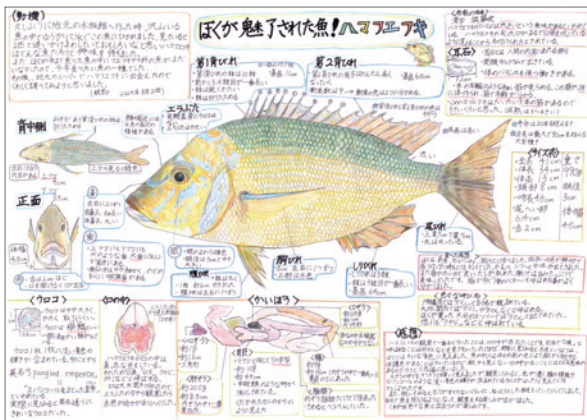
そう さく ぶ もん  
創作部門

かんさつ ず  
観察図

ぼくが魅了された魚!  
ハマフエフキ

かいが  
絵画

うみ  
海のめぐみ



大分県・小学5年生 村上 柗生 さん

高知県・小学5年生 田村 弦輝 さん

●「海とさかな」自由研究・作品コンクール くわしくはサイトを見てね! ➔ <https://www.umitosakana.com/>



ふーちゃん と



ふっくん: あんじい仙人のもとで修行している研究員です

## おさかな瓦版 NO.123 (2025年1月発行)

編集・発行: 国立研究開発法人 水産研究・教育機構

質問の送り先・お問い合わせ先: 広報課

〒221-8529 横浜市神奈川区新浦島町一丁目1番地25

GRC横浜ベイリサーチパーク 6階

TEL.045-277-0136 (広報課) FAX.045-277-0015

ウェブサイト <https://www.fra.go.jp/>

Facebook X (旧Twitter) YouTube ふらっとらぼ



Facebook <https://www.facebook.com/fra.go.jp>

X (旧Twitter) [https://twitter.com/fra\\_go\\_jp](https://twitter.com/fra_go_jp)

YouTube <https://www.youtube.com/@fralab>

ふらっとらぼ

YouTube チャンネル!

ふらっとらぼ <https://www.youtube.com/@fralab>

見てね!

ひょうし しゃしん  
表紙の写真



釣り上げられたマアナゴ

リサイクル適性(A)

この印刷物は、印刷用の紙へリサイクルできます。